

## 日本の貨物列車 中部・東海編 正誤一覧

日本の貨物列車「中部・東海編」をお持ちの方にお知らせいたします。  
 キャプション(字幕)やナレーションに誤りが判明した部分について、お詫びして訂正させていただきます。今後、DVDをご覧いただく際に、下記の訂正部分を参考にしていただいた上で、お楽しみください。

## 記

## 【正誤訂正】

## 【第2部】

1. 7090レのキャプション(字幕)に誤りがありました。

**誤** 福岡15:19発 → 西浜松 翌日12:58着

**正** 福岡(夕)15:19発 → 西浜松 翌日12:58着

2. 3461レのキャプション(字幕)とナレーションの両方に誤りがありました。

**誤** UT14C-8000/日産化学/濃硫酸(返空)/名古屋(夕)→速星

**正** UT14C-8000/日産化学/希硝酸(返空)/名古屋(夕)→速星

**誤** 「編成の後部に積載された、濃硫酸専用のUT14Cは、・・・」

**正** 「編成の後寄りに連結されたコキ200形式に積載された、  
 希硝酸専用のUT14Cは、・・・」

**解説** UT14C形式8000番代コンテナは、車扱いによるタンク車時代に速星→名古屋港間で運用されていたタキ8100形式(30t積)やタキ10700形式(35t積)を置き換えたものです。

3. 衣浦臨海鉄道線を走行する550レのナレーションに誤りがありました。

**誤** 最後部のコキ車に積載された、2個の20ftタンクコンテナは、  
 日本油脂の所有で、西大分・半田埠頭間での運用です。

**正** 最後部のコキ車に積載された、2基の20ftタンクコンテナは、  
 日本油脂が使用しているコンテナで、西大分・半田埠頭間での運用です。

**解説** コンテナを所有しているのは、日本石油輸送と鶴崎海陸運輸で、  
 日本油脂(現：日油)へリースしています。